

一 般 質 問 通 告 書

令和元年 8月 26日

前
午 9時 44分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和1年 8月 26日

湖西市議会議長 加藤 弘己 様



湖西市議会議員 穂 浩 幸 (印)

質問方式 (○を付ける)	一問一答 ・ 一括の質問答弁 ・ 一括と一問一答
番号	主 題
1	次期多文化共生推進プラン策定に向けて
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	次期多文化共生推進プラン策定に向けて
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>湖西市の人口動向は右肩下がりトレンドを継続しているが、外国籍の人口は平成29年より増加傾向にあり、外国人比率は、昨年度末には5%を超え、現在も増加している。背景として、労働市場における人手不足が慢性化しており、平成30年度の有効求人倍率は1.61%の中で、女性の労働力、シニア労働力に期待するところだが、湖西に於いては外国籍労働者に委ねるところが多いのが湖西市の特徴と考えられる。そんな中で、本年6月末、文化庁より日本語教育の推進に関する法律の施行について通知があった。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>次期湖西市多文化共生推進プランの策定を踏まえ、現状をどの様に捉まえ、課題と認識しているのか確認するとともに、日本語教育推進法を鑑みプラン策定プロセスの考え方を問い、時流に沿った多文化共生社会の構築を求める。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第2次多文化共生推進プランの進捗と課題をどの様に捉まえて認識しているのか伺う。 2. 日本語教育等、今年度から委託化を踏まえ、湖西国際交流協会の役割と位置付けについてどの様に認識し、どの様に連携を考えるのか伺う。 3. 日本語ボランティアの育成について進捗はどうか、どのレベルを求めているのか。また、公募時の委託仕様書には組織の体制として、「十分な能力を持つスタッフを確保すること。」と記載があったが、どの様なスキルか伺う。 4. 外国人への日本語教育の充実を促す「日本語教育推進法」が衆参本会議で可決、成立した。自治体における「日本語教育を進める責務」と、企業には「雇用する外国人に教育機会を提供するよう努める責務」が明記されている。湖西市はこれをどの様に捉まえ、推進するのか、考えを伺う。 	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和元年 8 月 26 日

前
午 11 時 10 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和元年 8 月 26 日

湖西市議会議長 加藤 弘己 様



湖西市議会議員 土屋 和幸



質問方式 (○を付ける)	<input type="checkbox"/> 一問一答 ・ 一括の質問答弁 ・ 一括と一問一答
番号	主 題
1	成年後見制度について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	成年後見制度について
質 問 の 要 旨	
<p>成年後見制度は、誰でも耳にしたことはあるかもしれませんが、その内容は知らない方が多いと思います。</p> <p>認知症、精神障害者、知的障害者などで判断能力が低下すると、自分の人生に必要な様々な選択をすることができなくなります。例えば住まいを快適に整えたり、好きな食べ物を食べたり、病院で必要な治療を受けたり等いろいろなことがあります。そうした日常生活をサポートしていくのが成年後見人であります。</p> <p>さて、湖西市でも私の知る限りでも多くのひとが成年後見制度を利用しています。しかしながら、市内では司法書士、行政書士の方がわずか数人で対応しています。そのため、市外、特に浜松市の方をお願いしているのが実状です。</p> <p>また、この制度は、本来本人や親族等が申し立てを行うことで利用できるものですが、それを行えているのは、現状では利用が必要な人の3割程度と言われ、その理由は、金銭的な問題や手続きを行う能力の問題、制度すら知らないということとされています。</p> <p>当市でもこうした成年後見制度を利用したくても知らないひと、今後制度を利用していかなければならないのに出来ないひとは見当がつかない位いらっしゃると思います。</p> <p>3年程前に、市内の行政書士の方が先進地である掛川市から専門家を招いて、市当局や社会福祉協議会、民生委員などに制度の紹介をしていただいた際に、私もその場に同席させていただきました。その際の話し合いの結果、今後湖西市でも制度の紹介や助成などを充実していきましょうという結論でしたが、その後何の進展もないことから、現状や今後の考えについてお伺いいたします。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>市民の方で途方に暮れている方、将来に不安を抱いている方が多いことから、制度について市の考え方をお伺いします。</p> <p>(質問事項)</p> <p>1. 湖西市は成年後見制度の周知や手続きの支援など、どのように今後進めていきたいと考えていますか。</p>	

2. 湖西市で成年後見制度を必要とする人間は、現在推定何人くらいいると考えていますか。
3. 浜松市では成年後見センターというNPO法人に委託をして、市民に向けて制度の相談や啓発などを支援していますが、湖西市でも同様に制度周知等を行うセンター設営などの働きかけをしていく考えはありますか。
4. 制度利用をするためにお金のない人に助成金を出しているようですが、どのように周知し、市民に活用してもらっていますか。
5. 制度の普及に向け、周知や援助をを実施していくお約束をしていただけるのであれば、今後どのように進めていくのかスケジュールなどを教えてください。

一 般 質 問 通 告 書

令和元年 8 月 26 日

前
午 11 時 55 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和元年 8 月 26 日

湖西市議会議長 加藤 弘己 様

湖西市議会議員 二橋 益良



質問方式 (○を付ける)	<input type="checkbox"/> 一問一答 ・ 一括の質問答弁 ・ 一括と一問一答
番号	主 題
1	包括施設管理業務委託料について
2	新所原 SG 広場 Bar (広バル) 実施について
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	包括施設管理業務委託料について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>今年度予算において、包括施設管理業務を民間事業者に委託料 145,173 千円にて執行いたしました。委託契約が複雑で公共施設においてもそれぞれ異なることから覚書にての調整を図っているところであると思います。また、修繕等においては、その手順が煩雑化しどこまでが委託業務で、改修事業完了までの執行業務がわかりにくく、自営管理と委託管理の比較がしにくい状況であります。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>包括施設管理業務内容について、お聞きします。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 包括施設管理業務内容はどのように精査したか。 2. 自営管理と委託管理の比較はどのようなものであるか。 3. 特に修繕における手順はどのようなになっているか。 4. 修繕費用は削減できているのか。 5. 委託事業者と修繕事業者の調整はどのようなものであるか。 6. 包括施設管理業務を委託したことによって、市当局の業務が軽減されたが人件費、業務削減による経費の削減はされているのか。 	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

番号	主 題
2	新所原 SG 広場 Bar（広バル）実施について
質 問 の 要 旨	
<p data-bbox="225 524 719 562">（質問しようとする背景や経緯）</p> <p data-bbox="204 577 1362 1144">新所原駅周辺の活性化、及び新所原駅南口利活用に係る潜在的ニーズを検証するため、去る7月29日（月）から8月9日（金）の午後4時から午後7時までの期間において、南口駅前広場にて屋台店の出店をして通勤昇降客や地域の来店者の賑わいによる活性化を図りました。10日間ではあったが来店者は1,115人、売り上げは868,500円と好評でありました。商工会による募集であったが採算の不安もあったことから出店は2店舗に留まり期間を終了しました。地域の声は「もう少し開催時間を延長したほうが良かった」、「周知がされていなくて知らなかった」、「もっと継続したらどうか」と様々な意見はあったが、多くは今後も継続して屋台店のように賑わいを提供してほしいと期待していました。駅周辺の活性化のための起爆剤になればと思います。</p> <p data-bbox="225 1167 432 1205">（質問の目的）</p> <p data-bbox="204 1220 1326 1258">新所原駅周辺の活性化に寄与できる屋台店を継続するため質問します。</p> <p data-bbox="225 1279 400 1317">（質問事項）</p> <ol data-bbox="213 1332 1347 1951" style="list-style-type: none"> 1. 新所原駅周辺の活性化のための検証開催はどのような経緯であったのか。 2. 今回の検証結果はどのように判断していくのか。 3. 駅前広場の歩道利用と営利活動をどのようにとらえ、営利活動の場の開設にあたっての障害はあるのか。 4. 出店については、総括管理が必要になるので組合方式等の検討はいかがか 5. 今後はどのような展開を図っていくのか。 	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和元年 8 月 26 日

前
午 11 時 57 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和元年 8 月 26 日

湖西市議会議長 加藤 弘己 様



湖西市議会議員 高柳達弥



質問方式 (○を付ける)	一問一答 ・ 一括の質問答弁 ・ 一括と一問一答
番号	主 題
1	道路の整備及び橋梁の補修事業促進と今後の計画について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

1 道路の整備及び橋梁の補修事業促進と今後の計画について

質 問 の 要 旨

(質問しようとする背景や経緯)

道路の整備及び橋梁の補修は、新・湖西市総合計画及び湖西市都市計画マスタープラン等に基づき、事業が計画的に進められています。しかし、道路を取り巻く環境も人口減少や少子高齢化、経済状況など社会情勢の変化に対応した道路整備の取り組みが必要となっています。道路機能には、土地利用誘導やアクセス、空間機能があります。そして、道路整備には、地域振興策を含めた整備が重要でありさらに、産業振興や交通安全、防災対策上必要な施設整備であります。

そこで、道路等の整備状況や事業実施方法、実施計画の見直し等について、市の考えを伺う。

(質問の目的)

道路等整備の事業促進

(質問事項)

1. 都市計画道路及び一般市道の整備計画と進捗状況について伺う。
2. 橋梁の点検状況及び補修計画について伺う。
3. 道路整備、橋梁補修の事業化の基準について伺う。
4. 社会経済状況に対応した道路整備、橋梁の補修計画の見直しが必要と考えるが、市の考えを伺う。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和元年 8 月 26 日

前

午後 0 時 00 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和元年 8 月 26 日

湖西市議会議長 加藤 弘己 様



湖西市議会議員 柴田 一雄



質問方式 (○を付ける)	一問一答 一括の質問答弁 ・ 一括と一問一答
番号	主 題
1	市内の分娩環境の整備と産前産後ケアの取り組みについて
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	市内の分娩環境の整備と産前産後ケアの取り組みについて
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>2007年7月に、湖西病院の産科が休止となり、湖西市内から分娩施設がなくなって12年以上が経過しました。</p> <p>新・湖西市総合計画の中でも「まちづくりの課題と市民の声」として「安心して子どもを産み育てられる環境づくりと次代を担う豊かな人材の育成」とあるが、この出発点である「安心して子どもを産む」という事が叶わない状況であります。</p> <p>現代の核家族化、晩婚化、高齢出産の増加により、現在、通院や検診に心身共に不安定な状態での長時間の移動を強いられる状況で、早急な市内の分娩環境の整備が重要な課題です。</p> <p>市長は平成30年3月定例会の施政方針の中で「産婦人科医の誘致助成事業におきましては、日本周産期・新生児医学会の学術集会へ湖西市役所ブースを出展してのPRなどを行いました。残念ながら現時点では、応募がない状況であります。引き続き各方面への働きかけを続けており、地元で安心して出産できる環境の整備に努めます」と述べられ、翌年、平成31年3月定例会の施政方針の中では「産婦人科医院の誘致につきましては、市有地を無料で貸し付けることができる制度を創設し、残念ながら現時点では、産科施設の実現には至っておりませんが、医療法人などとの折衝を続け、引き続き子どもを産み育てやすい環境の整備に注力していきます。」と、述べておりますが、その後、表向きには何の進展も示されておられません。</p> <p>先般、私が初めて市議会議員選挙に立候補するにあたり、子育て世代の多くの方から「湖西市内に産婦人科があれば出産をする以前の段階で、同じ湖西市内に住む同じ境遇のお母さん同士の繋がり、つまりママ友としてのつながりを持つことができ産前産後の悩みを打ち明け合ったり、精神的な一つの柱にもなり得る」と言う話を多く耳にしました。市内に分娩環境が整っていないという現実、一生涯のママ友の繋がり機会を失わせ、医療を含めた産前産後のケアの不備をきたしているのではないかと危惧致します。</p>	

(質問の目的)

現在、市内には湖西病院に婦人科が平日、半日のみ常設されているだけで、産婦人科が無く、近隣の市町の産婦人科を頼らなければ出産ができず、母体のみならず、家族にとっても精神的、経済的にも負担となり、産前産後のケアに関しても不安が拭えないと推測します。この負担と不安を少しでも軽減する必要があります。

(質問事項)

1. 湖西病院におかれましては、産科の再開を望む市民の声も多いです。以前、産科を常設していたこともあり、少なからずハード面、ソフト面でのノウハウを備えていると思われれます。それを活かしたゼロベースではない将来的な再整備について、どのように考えておられますか。
2. 市の取り組みとして産婦人科医院の誘致、分娩施設の整備についての現状の進捗状況をお伺い致します。
3. 産婦人科医院の誘致を継続していくうえで、今後の新たな取り組みなど、具体的な方策があれば教えて下さい。
4. 分娩環境が整っておらずお母さん同士の繋がりが持てないという声があるため、市内の妊産婦の産前産後のケアについて危惧をしておりますが、市としてこのことに対してどのような対応をしていますか。
5. 今年度から産婦健康診査・産後ケアを新規事業として実施されております。現在、6か月が経過しましたが、医療機関との連携状況はいかがですか。また、広報活動はどのようにすすめられていますか、お伺い致します。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること